

# 学士力

## ■ 4分野13項目 中教審が定義

### 「学士力」の主な項目

- 【知識】
  - ▽異文化の理解  
外国などの文化を理解する
  - ▽社会情勢や自然、文化への理解  
人類の文化や社会情勢などを理解する
- 【技能】
  - ▽コミュニケーション能力  
日本語、特定の外国語で読み、書き、聞き、話すことができる
  - ▽情報活用力  
インターネットなどの多様な情報を適切に使い、活用できる
  - ▽論理的思考力  
情報や知識を分析、表現できる
- 【態度】
  - ▽チームワーク、リーダーシップ  
他者と協力して行動したり、目標実現のために方向性を示せる
  - ▽倫理観  
自分の良心や社会のルールに従って、行動できる
  - ▽生涯学習力  
卒業後も自ら学習できる
- 【創造的思考力】  
知識、技能、態度を総合的に活用し、問題を解決することができる

中央教育審議会（文部科学相の諮問機関）の大学分科会小委員会は10日、卒業までに学生が最低限身につけなければならない能力を「学士力（仮称）」と定義し、国として具体的に示す素案をまとめた。えり好みさえしなければ誰でも

中央教育審議会（文部科学相の諮問機関）の大学分科会小委員会は10日、卒業までに学生が最低限身につけなければならない能力を「学士力（仮称）」と定義し、国として具体的に示す素案をまとめた。えり好みさえしなければ誰でも

「学士力」は、「知識」「技能」「態度」「創造的思考力」の4分野13項目。「知識」では、専攻分野の基本的な知識の習得だけでなく、社会情勢や歴史とも関連つけて学ぶことを、「技能」では、卒業後の社会生活を送る際に必要な能力として、日本語と特定の外国語で読み、書き、聞き、話す力の習得を求めた。さらに、各大学に対し、授業などの到達目標や成績評価の基準を明確にし、学士力がどれだけ定着したか把握するよう要請。大卒の水準維持のため、学部別や全学的な卒業認定試験を実施することも提案した。

「学士力」は、「知識」「技能」「態度」「創造的思考力」の4分野13項目。「知識」では、専攻分野の基本的な知識の習得だけでなく、社会情勢や歴史とも関連つけて学ぶことを、「技能」では、卒業後の社会生活を送る際に必要な能力として、日本語と特定の外国語で読み、書き、聞き、話す力の習得を求めた。さらに、各大学に対し、授業などの到達目標や成績評価の基準を明確にし、学士力がどれだけ定着したか把握するよう要請。大卒の水準維持のため、学部別や全学的な卒業認定試験を実施することも提案した。